

事業実績書

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

第3次陶地区地域づくり計画の2年目となり「みんなでつくろう笑顔でつながるふるさと陶」のキャッチフレーズのもと、様々な年齢層がつながる「オール陶」の体制で積極的に取り組みます。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	帰りたくなるまち陶	
	事業名	人材発掘、夏フェス	決算額 135,163円
②	視点	笑顔でつながるまち陶	
	事業名	三世代交流の推進	決算額 90,464円
③	視点	誰もがつながり支えあうまち陶	
	事業名	自主防災活動の推進	決算額 84,306円
④	視点	歳を重ねてもHappy 陶	
	事業名	健康管理・保険講座	決算額 14,476円
⑤	視点	誰もがつながり支えあうまち 陶	
	事業名	陶クリーン作戦	決算額 294,648円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①若者アイデア地域づくり「夏フェス」や食推と交流Cコラボの「陶友遊カフェ」は企画どおり出来た。しかし「若者座談会」での具体的な地域づくり人材育成方法案を提案するまでには至らなかった。	△
②小学校、PTA、子供会、老人クラブ等の三世代で、昨年作成した「カルタ」でむかし遊び、しめ縄、餅つき経験で昔の行事体験をさせる事ができ、三世代間のコミュニケーションが図られた。	◎
③砂置場点検、他地区避難訓練見学、小学校との合同避難訓練、[ふれあい祭]での炊出し訓練、自治会長・福祉員との連絡網の見直し等で災害弱者への支援体制の確認できた。	○
④陶南部ウォーキングコース約6Kmを3歳から85歳の約50人の参加で、陶沖の慶安開作記念碑等の説明を地元の方から聞き、遠い昔に思いを馳せながらのウォーキングも健康増進に一役。	◎
⑤小・中学生から高齢者まで、全集落、地区内23団体が参加して地区内の国道、県道周辺や通学路の環境美化活動を実施しました。また中央公園の清掃、除草も実施しました。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

- (1) 陶の2大イベント「陶地区民運動会」、「陶ふれあいまつり」、をはじめ「夏フェス」、「クリーン作戦」、「三世代交流」等多くの参加者のもと開催され『みんなでつくろう笑顔でつながるふるさと陶』へ積極的に取り組まれた。
- (2) 昨年から取組んだ若者主体による「夏フェス」へ地元若者参加者のほか、他地区からの若者の参加が増えたり、お年寄りの参加者もあり、少しずつ地域に根付きつつあり、陶あげての夏のイベント化を目指している。
- (3) 陶の広報誌「まるごと陶」がこの3月で創刊100号となり、記念にオリジナルクリアファイルを作成した。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	3,931,813円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員:2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務用品 (成果・評価) 年間を通じて滞りなく事務局運営を行うことが出来ました。ただし、事務局用PCがWin7である事に気付くのが遅れ、他ソフト事業予算より補充した。 (今後に向けて) より円滑な事務局運営を行うために、さらなる事務改善に努めます。

(2) 地域振興

事業名	人材発掘、人材育成
事業費	35,163円
事業概要	(実施内容) ①若者座談会 ②人材育成研修会 (実施時期) ①7月 ②未実施 (参加人数) ①21人 ②0人 (成果) 若者同士の仲間づくりができ「夏フェス」を開催することができました。 (評価) 人材育成としての勉強会や研修会等の機会がなかったものの、若者3名を連合自治会の推薦委員として6回の委員会に出席してもらい若者意見を聞く機会があった。

事業名	広報活動の推進
事業費	887,732円
事業概要	(実施内容) ①広報誌「まるごと陶」を毎月発行し、各戸に配布しました。 ②フェイスブック「まるごと陶」にリアルタイムに情報発信を継続 (実施時期) ①、②共に平成31年4月から平成32年3月まで (参加人数) ①120人 (成果) ①公民官報で優良賞受賞。令和2年3月で創刊100号となり記念にオリジナルファイルを作成。 (評価) 紙情報誌で受賞出来たのに対して、フェイスブックの更新がシステムの？要因で出来てなく、紙以外の媒体で陶の情報発信が停止中である事が残念である。 (今後に向けて) ①更なる上位入賞を目指し、②のメンテナンスを実施し全国情報発信できるよう努めます

事業名	ふれあいまつりの開催
事業費	497,000円
事業概要	(実施内容) ①「地区民運動会」②「夏フェス」③「陶ふれあいまつり」④友遊カフェを大々的に開催した。 (実施時期) ①4月 ②8月 ③11月 ④9月、2月中止 (参加人数) ①約800人 ②約400人 ③約1000人 ④64人 (成果) ②若者の企画で2回目の「夏フェス」他地区の若者も参加し、前年よりも人出は多かった。 ①③陶の2大イベント皆さんの協力で大勢の参加があった。 ④2月下旬予定のお雛様を飾り、ピアノ生演奏予定してたが、新型コロナで中止となる。 (評価) ②若者アイデア素晴らしい①③地区民の多数の参加で、ふれあいまつりは達成できた。 (今後に向けて) 夏フェスが運動会、ふれあいまつりに匹敵するような盆踊り大会に成長するよう頑張る。

事業名	活動グループの育成
事業費	44,691円
事業概要	<p>(実施内容) 地区民中心の活動グループ(①ふれあい農園クラブ、②陶助人隊、③写友陶)を支援(趣味などが同じ人の集まりから少しずつ組織化する)</p> <p>(実施時期) ①②③通年</p> <p>(参加人数) ①会員20人 ②隊員21人 ③会員9人</p> <p>(成果) ①②③ともに活動を通じて、ふれあいを深めることが出来ました。</p> <p>(評価) ①野菜づくりを習得しながら、他の地域活動参加の足掛かりに繋がりがつつある。 ②陶地区内の行事等に参加呼びかけで、少しずつ広がりはあるがハード作業が多い。 ③定期的に四季の写真パネルが替わるので、交流C来場者の気持ちが和んでいる。</p> <p>(今後に向けて) ①現在の畑の広さで、みんなでこのまま楽しくやっていたらよいという声あり。 ②ソフト面(生け花、音楽、元教師等)隊員のPRをし、地区内でもっと活躍頂ける仕組みづくり。 ③趣味を生かして親睦を深め、広報誌への写真提供、地域再発見に挑戦する。</p>

事業名	陶ブランドの立ち上げ
事業費	69,136円
事業概要	<p>(実施内容) ①遊休農地に酒米を植え地酒をつくる。「地酒の楽校」陶分校開校 ②マスコット(すえっき)プリントポロシャツ作成</p> <p>(実施時期) ① 7月 ②7～9月</p> <p>(参加人数) ①23人 ② 5人</p> <p>(成果) ①発酵文化研究所長を講師に迎え「おいしいお酒の選び方」を教わり、三銘柄で試飲会。 ②小学校をターゲットに「すえっき-ホワイトポロシャツ」を試みたが販売に至らなかった。</p> <p>(評価) ①「遊休農地の利用」に「酒米」を植え、地酒作って5年目で「陶酔」が陶中に広まった。 ②「すえっき-ポロシャツ」を「まるごと陶」で紹介するも昨年の数には到底及ばなかった。</p> <p>(今後に向けて) ①これからも勉強会を重ね「陶酔」が陶のブランド品となるようにしたい。 ②ポロシャツだけでなく、「すえっき」等活用した、陶アピール製品開発を今後もしていく。</p>

(3) 地域福祉

事業名	地域福祉講座の開催
事業費	8,606円
事業概要	<p>(実施内容) 「高齢福祉サービスの制度と仕組み」「薬と上手なつきあい方」について講座を開催しました。</p> <p>(実施時期) 令和元年9月</p> <p>(参加人数) 40人</p> <p>(成果) 知っているようで知らない「福祉制度」と「薬」大変分かり易い講座であった。</p> <p>(評価) かたい講座後のウクレレとアコーディオン演奏で和み、また講座聴きに来たいなの雰囲気だった。</p> <p>(今後に向けて) 高齢者が気楽に参加できる講座を引続き検討します。</p>

	子育て支援の推進
事業費	90,000円
事業概要	<p>(実施内容) ①放課後の児童調理・手芸教室②未就園児子育ての両グループを支援しました。</p> <p>(実施時期) ①②令和元年4月～令和2年3月</p> <p>(参加人数) ①対象学童延べ75人、②対象親子延べ213人</p> <p>(成果) ①調理3回、手芸3回 ②12回の活動を実施しました。</p> <p>(評価) ①学童のチョット調理、手芸が可能になる②食推、母推等が先輩お母さんとして活動。</p> <p>(今後に向けて) ①未学童保育者に、調理と手芸を経験させて自立支援に役立てたい。 ②今後も未就園児、保護者さんの支援を食推、母推で継続支援します。</p>

事業名	三世代交流の推進
事業費	90,464円
事業概要	(実施内容) 複数の団体と協力し①陶小ふれあい広場②3世代餅つきを開催しました。 (実施時期) 令和元年6月、令和2年1月 (参加人数) ①246人、②114人 (成果) 小学校、PTA、子ども会、老人クラブとで昔遊びを通してコミュニケーションが深まった。 (評価) コミュニケーションが深まることで、円滑な見守り活動ができ、自然と「挨拶」が出る様になった。 (今後に向けて) ①今後も参観日に併せて実施します。②なるべく昔の道具での餅つき継続。

事業名	高齢者のサポート
事業費	120,073円
事業概要	(実施内容) 陶老人クラブ連合会と協賛して、①敬朗祝賀会②フォークダンス同好会支援を実施した。 (実施時期) ①9月21日 ②6月20日 (参加人数) ①70歳以上145/614人 ②280人日 (成果) ①70歳以上の方を招いて敬朗会を実施した。舞台でお祝いの踊りや歌手も敬老者となった。 ②高齢者が2回/月練習、2回/年の講習会でフォークダンス。笑いが絶えないそうである。 (評価) ①2年で1度の敬朗会が楽しみの声あり②ふれあい祭での発表会で「服が可愛い」拍手喝采。 (今後に向けて) ①今後も、老人クラブと隔年で共同開催をします。②地域づくり応援事業で支援する。

事業名	健康管理活動・保健講座
事業費	14,476円
事業概要	(実施内容) 陶地区ウォーキングの南部コース(6Km)で、ふるさとを再発見と体力づくりをしました。 (実施時期) 11月 (参加人数) 3歳から85歳まで49人(他地区より6人参加) (成果) 陶沖地区の開拓の碑等で地元の方の説明を聴きながらウォーキングで健康増進を図った。 (評価) 幅広い年齢層の参加で、ふるさとの歴史を聞きながら学習でストレス解消。 (今後に向けて) 毎年コース等を変え、地区内を一巡し歴史と体力強化を図ります。

事業名	小規模福祉の輪づくり
事業費	58,500円
事業概要	(実施内容) ①健康長寿講座として「音楽と健康」、②西京大学「地域包括ケア」に取り組みました。 (実施時期) ①8月9日、③8月25日 (参加人数) ①35人、②70人 (成果) ①他地区のコーラスグループと合唱、地域おこし隊員のピアノ生演奏で気分爽快・うっとり。 ②「ロコモティブシンドローム」防止で体を動かし最後はみんなで歌を歌って介護予防。 (評価) ①②とも歌を歌うという行為が介護予防に大きく役立つように思えた。 (今後に向けて) 高齢化の中、介護予防講座を各々活動グループとの共催で実施する。

(4)安心・安全

事業名	自主防災活動の推進
事業費	84,306円
事業概要	(実施内容) ①他地区の防災訓練を視察(防災担当委員) ②自主防災委員の集合訓練・小学校との合同避難訓練を実施した。 ③「陶ふれあいまつり」時に、焚きだし訓練をした。 (実施時期) ① 8月 ②10月 ③11月 (参加人数) ① 7人 ②90人 ③450食(豚汁) (成果) ①の視察でいざという時に土嚢を作る現体制では間に合わないことを痛感した。 (評価) ②③とも自主防災委員として2年目で要領を得ているのでテキパキの行動であった。 (今後に向けて) 陶消防団員と共同で「土嚢」づくりを実施し、いざに備える体制を少しずつ整える。

事業名	陶っこ見守り隊(子ども見守り活動)
事業費	0円
事業概要	(事業内容) 青少協を主体に、下校時の子供の見守り活動を、毎水曜日に定点で実施しました。 (実施時期) 通年(夏休み、冬休み、春休みを除く) (参加人数) 460人 (成果) 定点での見守り実施で、下校時の防犯と交通の安全が確保されている。 (評価) 永年の見守り活動が認められ、山口市交通安全対策協議会から功労者表彰を受賞。 (今後に向けて) 児童の安全を守る為、今後も活動を継続します。

事業名	交通マナーアップ in SUE(交通安全、交通マナーアップ)
事業費	61,833円
事業概要	(事業内容) 小中新入生の交通安全を図るため防犯ブザーやベストを贈り、四季の交通安全週間中に啓発用の旗掲揚と、広報活動や立哨活動をしました。また、カーブミラー清掃も年2回実施 (実施時期) 4月、7月、9月、12~1月 (参加人数) 65人 (成果) 安全部会員、交安協委員や見守り隊の活動で交通安全が保たれている。 (評価) 用具の贈呈、立哨活動、広報活動により安全啓発を充実させることが出来ました。 (今後に向けて) 陶の交通危険個所マップ更新し、更なる交通安全啓蒙活動を続けます。

事業名	反射鏡設置・修復(道路環境の整備)
事業費	0円
事業概要	(事業内容) 反射鏡所設置、故障修理【カーブミラー清掃】 (実施時期) 【4月、 9月】 (参加人数) 【35人 陶交通安全協会委員】 (成果) 今年度の反射鏡取付、故障修理なし【カーブミラー清掃・点検異常なし】 (評価) (今後に向けて) 地区内の必要箇所を調査して、今後も道路環境の改善に努めます。

(5)環境づくり

事業名	土木工事:法定外公共物
事業費	3,351,080円 (3,351,080円の内、ソフト事業分から72,080円流用)
事業概要	(実施内容) 法定外公共物の整備、里道の舗装工事(3路線)、農水路の整備(1件) (実施時期) 令和元年8月～令和2年1月 (参加人数) 業者に委託 (成果) 里道の舗装、農水路の整備が出来ました。 (評価) 里道の舗装と農水路の整備が行われ関係者に喜ばれています。 (今後に向けて) 引続き里道の舗装整備、農水路等の整備に努めます。

事業名	陶クリーン作戦(道路環境美化)
事業費	294,648円
事業概要	(事業内容) 地区内の国道、県道周辺や通学路の環境美化、中央公園の清掃を実施しました。 (実施時期) 7月、11月、2月 9月(中央公園) (参加人数) 503人 (成果) 小・中学生から高齢者まで、全集落、地区内23団体が参加する陶の最大の美化活動です。 (評価) 住民の参加意識も高く、環境美化が向上しました。 (今後に向けて) 高齢化が進む中で作業工程、方法等の見直しをしながら、環境美化に努める。

(6)地域個性創出

事業名	再発見「素晴らしい陶」
事業費	282,226円
事業概要	(実施内容) ①陶地区内限定の写真コンテストを実施し、審査員はふれあい祭参加者での投票。 ②史楽会調査データを活用した小学生から大人向けの史楽ノート作成(vol1) (実施時期) ①11月(ふれあいまつり)に展示・投票 ②ノート完成3月(地区内全戸配布) (参加人数) ①47作品/16人応募 141名審査員 ②史楽会員12名 (成果) ①応募作品を多くの人に紹介できたので来年の応募作品はまだ増えると思われる。 ②史楽会には陶の史跡、偉人データが200件以上蓄積された。 (評価) ①誰もが審査員になれる親近感。②ノート形式なので1度に多くの情報を掲載出来ない。 (今後に向けて)①陶限定の四季写真コンテスト継続するとともに、一般の写真コンテストもやる方向。 ②蓄積されたデータを紙以外の媒体で陶以外に発信できる仕組みづくりをする。

事業名	陶ふるさと大学
事業費	103,553円
事業概要	(実施内容) ①陶ふるさと大学 ②鑄銭司遺跡発掘体験 ③古代テクノポリス陶・鑄銭司移動整理室 (実施時期) ①7月 ②10月 ③12月 (参加人数) ①46名 ②5名 ③27名(小学生15名) (成果)①「陶出身、脱退騒動」の話で聴講者多し。②今回は「鑄損」や「木簡」発見されなかった。 ③発掘された土器片を復元される工程の実演に「パズル」のようだと関心持たれていた。 (評価)①富永有隣地元の人物で話の中で馴染みの寺名等で関心度が増し次回要望の声あり。 ②、③実際に体験したり、目の前で作業を小学生が見学できた事はよかった。 (今後に向けて)ふるさと再発見に向けた広報活動を強化し、参加者増員に取り組みます。

事業名	地元文化育成
事業費	52,041円
事業概要	<p>(実施内容) 今年地元音楽愛好家を軸とした手作り音楽祭は実施されない隔年にあたり Music陶来楽夢とふれあい祭とのコラボはなしで、幼稚園園児と消防音楽隊で実施</p> <p>(実施時期) 11月</p> <p>(参加人数) 1000名(ふれあい祭の参加者)</p> <p>(成果) 幼稚園園児の集客力はすごいということを教わりました。</p> <p>(評価) 地元演奏を隔年にしたことで演者が余裕をもって次年度構想が練れると思われる。</p> <p>(今後に向けて) ふれあいまつりと共催は来年度は実施する予定である。</p>

事業名	文化財保護活動
事業費	57,200円
事業概要	<p>(実施内容) ①陶窯跡周辺の清掃、整備</p> <p>(実施時期) ①11月</p> <p>(参加人数) ①7名</p> <p>(成果) 毎年実施することにより、以前に比べ草木の伸張が進まなくなってきました。</p> <p>(評価) クリーン作戦と同時作業としたことで、大勢の方に文化財保護活動が知られるようになった。</p> <p>(今後に向けて) 陶史楽会と連携し他に、保護の必要な個所はないか調査し、保護するようにする。</p>

事業名	コミュニティ・スクールの支援
事業費	50,000円
事業概要	<p>(実施内容) 小学校の早朝草取り、音楽会コーラス、持久走交通指導、昔あそび等支援</p> <p>(実施時期) 随時</p> <p>(参加人数)</p> <p>(成果) 早朝草取り、地域の人材が教育活動、課外活動に世話役として携わった。</p> <p>(評価) 小学校と地域のつながりが自然に出来、三世代交流にもつながってきている。</p> <p>(今後に向けて) 陶小学校のコミュニティ・スクール活動の支援を続けます。</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。